

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也
[http://www.s-kinder.com /index.html](http://www.s-kinder.com/index.html)

●12月のひとコマ



<生活発表会:ばなな組>



<生活発表会:きこの組>



<年長児:めだかのお世話>

あけましておめでとうございます

2020年。本当だったら世界中からたくさんの観光客が訪れ、東京オリンピックが盛大に行われていたであろう年。明るい話題や華やかな話題で包まれていたのかなあ・・・とは、想像することもあります。何より新しい1年を無事に迎えることができましたこと、子どもたち・保護者の方々、園に関係する皆様のおかげ様だと、大変感謝しております。

OECD(経済協力開発機構)では、2030年において子どもたちに求められるコンピテンシー(一定の能力)をとりまとめるEducation2030プロジェクトが進められています。10年後には、今ある仕事もAIにより自動化され、その多くがなくなるだろうと言われています。中には10~20年後に50%近くの職業は自動化されるという予測もあり、今を生きる子どもたちは【何を】【いかに】学ぶべきかを改めてじっくり見つめ直さなければならないと感じます。

Amazonで検索していると、「あなたへのおすすめ」などと、興味のある商品が心を見透かされたようにずらっと表示されます。世界中のユーザーの購買・閲覧履歴や傾向などから、趣向性の近いユーザーのデータを分析し、興味があると思われる商品が紹介されるわけです。これはまさにAI技術(データ分析・処理)の進化によってもたらされたものです。もちろん、面白そうな書籍や新たなアーティストを知るなど、出会いを生み出してくれる良いきっかけにもなっているのも事実です。しかしながら、同じような考えを持つ個人が分類されることで、知らず知らずに考えや意見が同質化され、いくつかの集団として分類・分断されていくようなおそろしさも一方で感じるわけです。

新型コロナウイルスにより、約1年間、「感染することのリスク」と「保育を行わないことのリスク」という2つの相反する命題の中で悩み続ける日々が続いています。「やるべきか、やめるべきか」「変えるべきか、継続すべきか」など選択肢のどちらかが唯一の解決策といった形で問題解決が図られることはなかなかありません。今の子どもたちが大きくなったときには(大きくなる過程でも)、まさにそのような難題に向き合わなければならないときが多く訪れるでしょう。他者とかかわりあいながら、時には自分にはない考えを受け入れ、理解しあおうとする。多くの園児が生活しているせんだい幼稚園はまさに「多様」と触れ合える場所です。多様に触れ、悩み、葛藤し、刺激を受け、さまざまなことを乗り越えていける強さとしなやかさを持った子どもたちに育ててほしい。そんな願いのもと、今年も全力で支援していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。